

2/27・28

経験を通して「仕事」を学ぶ

市立中学校の2年生が職場体験

市立中学校では、2年生が市内の事業所などで職場体験を行っています。市役所の環境課では、筑山中学校の生徒4人が自然環境・生態系の把握を目的に、植物の専門家と市内の植物のモニタリング調査を行いました。生徒の皆さんからは「多くの動物、植物が生息しており、視野を広げて観察できた」「初めて知った植物がたくさんあり、とてもいい勉強になった」などの感想がありました。



市内に自生する植物をモニタリング

2/21

山に登り、山を美しく

西久さんが藍綬褒章の受章を報告

市内針摺東在住の西久さんが令和元年秋の褒章で藍綬褒章を受章し、この日、藤田市長に報告しました。環境省から委嘱される自然公園指導員の西さんは、阿蘇くじゅう国立公園を中心に、登山道の整備や環境美化のための活動を続けており、その功績が認められたものです。

西さんは「今後も地道な活動を続けていきたい」と話してくれました。



登山をしながら美化活動続ける西さん(左)

3/15

粥に生えたカビが示すもの

筑紫神社粥占祭

筑紫神社の粥占祭は、粥に生えたカビを見て吉凶を占うもので、200年以上前から行われているとされています。2月15日に炊かれた粥は神殿の中に保管され、1カ月後のこの日、取り出されました。

粥は筑紫神社を中心に見立て、方位によって分けられ、判断委員が生えたカビの色や量から、農作物や災害の有無などを占いました。結果は、総合判断で「中」とされ、筑前は2番目によいとされました。



行事と粥鉢は市無形民俗文化財に指定されています

2/23

「放水はじめ!」連携を確認

筑紫神社消防演習

筑紫神社から出火した想定で、演習が行われ、市消防団筑紫・筑紫南両分団と各消防後援会、筑紫野太宰府消防本部が参加しました。

演習では、東西2カ所の防火水槽・消火栓からホースを延長して水を送り、団員が中継の小型可搬ポンプを運び上げ、高台にある拝殿で放水を行いました。

参加した団員は、「指揮・命令系統など、反省を実際の火災で生かしたい」と話していました。



消防本部とともに放水を行う消防団員